

2019年3月21日

親愛なる濱田市長

あなたに私の声をお届けするこの機会を得ましたことをありがたく思っています。

最後に光が差しました。それがいつかはわかりませんでした。私はこの日が来ることをずっと信じていました。真実は負けることはないと確信していたからです。暗闇が光に勝つことはありません！

私達はずっとずっとずっと、真実だけを語ってきましたし、一日たりともそれを曲げることはありませんでした。

私達AETは、あの恐怖にさらされた日々にも毎日学校へ行き、職業人として最善を尽くしてきました。子供達は学校で私達に会うと、いつも興奮し積極的に接してくれました。お望みであれば、いつでもその証拠をお見せできます。

生徒達と私が共に生徒達の卒業を祝う日に起こったことは、私を最も深く悲しませました。あなた方は何かに深く怯え、私達を子供達から切り離し、卒業式を傷付けたのです。あなた方は誠実さを持つことなく日々を送っているが故に、他の誰もが自分達と同じように行動するのだとお考えなのでしょう。

真実に抗い、あなたとあなたのチームがでっち上げた嘘を真実のように見せかけるためにどんなに多額の、市民が収めた税金が費やされたのかと、私はしばしば考えてきました。あなた方が誠実に行動してさえいればと想像なさってください。あなた方が浪費したお金を高槻の子供達のために使っていれば、と想像なさってください。

あなたとあなたのチームがこれまでの出来事を改めて思い返されることを希望します。

そして、今回の出来事から何かを学ばれることを願います。また、2015年3月の卒業式に6年生として臨んだ全ての子供達に対し、あなた方が謝罪の手紙を送られることを私は求めます。

私自身は、2014年から2015年にかけて日夜私を恐怖にさらしたあなたと全ての人々とをこれ以上咎める気持ちはありません。

敬具

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'M. Heuss'. The signature is stylized with a large initial 'M' and a long, sweeping underline.

マリアン・シーオス

2014-2015年高槻AET